

こえびそう審査基準

1 基準の対象

この審査基準は、キツネノマゴ科 (Acanthaceae) ジャスティキア属 (Justicia) のジャスティキア ブランデージアナ種 (J.brandegeana) を調査対象とする。

しかし、これ以外の出願があった場合は、本基準適用の可否について前もって検討する必要がある。

2 特性検定のための栽培試験方法

(1) 耕種概要

作型：施設無加温鉢栽培

挿し木：4月上旬 天挿し

定植：5月中旬 鉢の大きさ 3号

用土 赤玉（小～中粒）5：腐葉土3：川砂2

花摘み：挿し木後、主茎に発生した花穂については、花が3花程度開花したら花穂ごと摘み取る。

整枝：花摘み後に発生する一次分枝については放任とする。

施肥：追肥 月2～3回程度の薄目の液肥

置き肥 定植後、少量の緩行性肥料

遮光：夏季の高温時の遮光

(2) 供試個体数 30個体

(3) 調査時期 秋調査

花摘み後、伸長した最長の一次分枝の花穂に2～3花目の花が咲いた時。

(4) その他 生育調整剤等の処理は行わない。

(5) 提出種苗形態 5月上中旬

天挿し無摘心のセル苗

生育調整剤等の影響及び処理の行われていないもの。

3 特性審査基準

(1)特性審査基準(案)

重要な形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
樹姿	1	草姿	植物全体の草姿	観察 図1	直立 横張	1 2		
	2	株幅	株の最大幅	測定 cm	狭 中 広	3 5 7	グッタタ	
樹高	3	草丈	地際から植物体最頂部までの高さ	測定 cm	低 中 高	3 5 7	グッタタ	
枝の形状	4	茎の毛の多少	開花枝中央部の茎の毛の多少	観察	粗 中 密	3 5 7	グッタタ	
	5	節部のアントシアニンの有無	開花枝の節部のアントシアニンの有無	観察	無 有	1 9	イエロークィーン グッタタ	
	6	開花枝の長さ	開花枝基部から花穂先端までの長さ (伸ばした状態で測定)	測定 cm	短 中 長	3 5 7	グッタタ	
葉の形状	7	葉形	株における開花枝上部の葉形	観察 図2	披針形 線状楕円形 狭卵形 楕円形 卵形	1 2 3 4 5		
	8	葉長	開花枝の最大葉の長 (押し広げた状態で測定)	測定 cm 図3	短 中 長	3 5 7	グッタタ	
	9	葉幅	開花枝の最大葉の幅 (押し広げた状態で測定)	測定 cm 図3	狭 中 広	3 5 7	グッタタ	
	10	葉の表面の色	開花枝中央部の葉の緑の色		淡緑 緑 濃緑	1 2 3	グッタタ	
	11	葉の斑の有無	開花枝中央部の葉の斑の有無	観察	無 有	1 9	グッタタ	
	12	葉の斑模様	斑のタイプ	観察 図4	散り斑 掃け込み 外斑 中斑	1 2 3 4		
	13	葉の斑色	斑の色	RHSカラーチャート の色票番号による				
	14	葉のアントシアニンの着色の有無	葉のアントシアニンの着色の有無	観察	無 有	1 9	グッタタ	
花の形状	15	花穂の曲がりの程度	典型的な花穂の曲がりの程度	観察 図5	無又は極弱 弱 中 強 極強	1 3 5 7 9	グッタタ	

重要な形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
花の形状	16	花穂の数	最長開花枝の花穂の数	測定	少 中 多	3 5 7	グッタタ	
	17	花穂の長さ	花穂を伸ばした長さ	測定 cm 図6	短 中 長	3 5 7	グッタタ	
	18	花穂の太さ	花穂中央部の苞のみの太さ	測定 cm 図6	細 太 長	3 5 7	グッタタ	
	19	花穂の苞の重なり の程度	花穂の苞の重なり の程度	観察 図7	弱 中 強	3 5 7	グッタタ	
	20	花穂の苞の開きの 程度	花穂の苞の開きの 程度	観察 図8	狭 中 広	1 2 3	グッタタ	
	21	苞全体の形	典型的な苞の形	観察 図9	披針形 長楕円形披針形 卵形 心臓形	1 2 3 4	グッタタ	
	22	苞の横断面の形	花穂中間部より下側の苞 の中央部の横断面の形	観察 図10	I型 II型 III型	1 2 3	グッタタ	
	23	苞の長さ	花穂中央部の苞の長さ	測定 cm 図11	短 中 長	3 5 7	グッタタ	
	24	苞の幅	花穂中央部の苞の幅さ	測定 cm 図11	狭 中 広	3 5 7	グッタタ	
	25	苞の色変化の有無	若い苞と下部の苞の色の 変化の有無	観察	無 有	1 9	イエロークイーン グッタタ	
	26	若い苞の外側の色	若い苞一枚の外側の色 (色変化するもののみ)	RHSカラーチャート の色票番号による				
	27	苞の外側の複色の有 無	苞一枚の外側の複色の 有無	観察	無 有	1 9	グッタタ	
	28	苞の外側の主な色	苞一枚の外側の主な色	RHSカラーチャート の色票番号による				
	29	苞の外側の複色	苞一枚の外側の複色	RHSカラーチャート の色票番号による				
	30	苞の複色の着色部位	複色の着色している場所	観察	先端部 基部 中肋 縁部	1 2 3 4		
	31	唇弁の開きの程度	上唇弁と下唇弁の開きの 程度	観察 図12	狭 中 広	3 5 7	グッタタ	

重要な形質	番号	形質	定義	調査方法	状態又は区分	階級	標準品種	備考
花の形状	32	花冠の縦経	花冠の縦経	測定 cm 図13	小 中 大	3 5 7	グッタタ	
	33	花冠の長さ	花冠の長さ	測定 cm 図13	短 中 長	3 5 7	グッタタ	
	34	上唇弁内面の複色の有無	上唇弁内面の複色の有無	観察	無 有	1 9	グッタタ	
	35	上唇弁内面の主な色	上唇弁内面の主な色	RHSカラーチャート の色票番号による				
	36	上唇弁内面の複色	上唇弁内面の複色	RHSカラーチャート の色票番号による				
	37	下唇弁の形	下唇弁の形	観察 図14	I型 II型 III型 IV型	1 2 3 4		
	38	下唇弁の長さ	伸ばした状態での下唇弁の長さ	測定 mm 図13	短 中 長	3 5 7	グッタタ	
	39	下唇弁の幅	自然状態での下唇弁の	測定 mm 図13	狭 中 広	3 5 7	グッタタ	
	40	下唇弁内面の複色の有無	下唇弁内面の複色の有無	観察	無 有	1 9	イエローQueen グッタタ	
	41	下唇弁の複色模様	下唇弁内面の複色模様 (参考図の枠内の模様について観察する)	観察 図15	I型 II型 III型 IV型	1 2 3 4		
	42	下唇弁内面の主な色	下唇弁内面の主な色	RHSカラーチャート の色票番号による				
	43	下唇弁内面の複色	下唇弁内面の複色	RHSカラーチャート の色票番号による				
	44	葯の色	開葯前の葯の色	観察	白 黄 紅 赤紫 褐 紫褐	1 2 3 4 5 6	イエローQueen グッタタ	
	45	花糸の色	開葯前の花糸の色	観察	白 黄 紅 赤紫	1 2 3 4	グッタタ	
早晩性	46	開花の早晩	50%の株が開花した時	観察	早 中 晩	3 5 7		

(2)特性審査基準(案)参考図

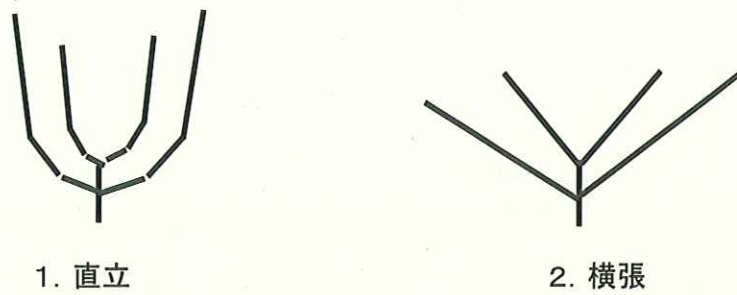


図 1 草姿(形質 1)



図 2 葉形(形質 7)

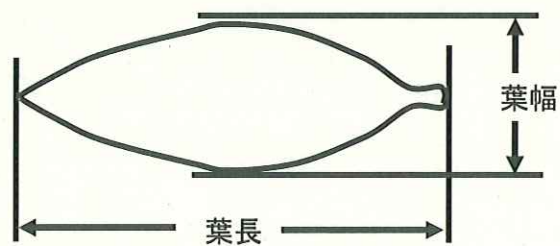


図 3 葉長・葉幅(形質 8・9)



図 4 葉の斑模様(形質 12)



図 5 花穂の曲がりの程度(形質 15)

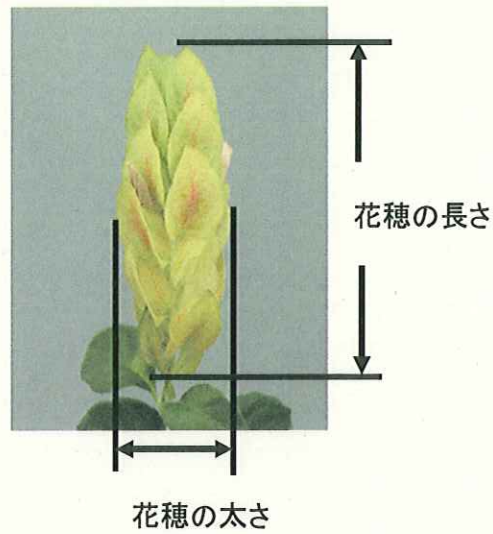


図 6 花穂の長さ・太さ(形質 17・18)

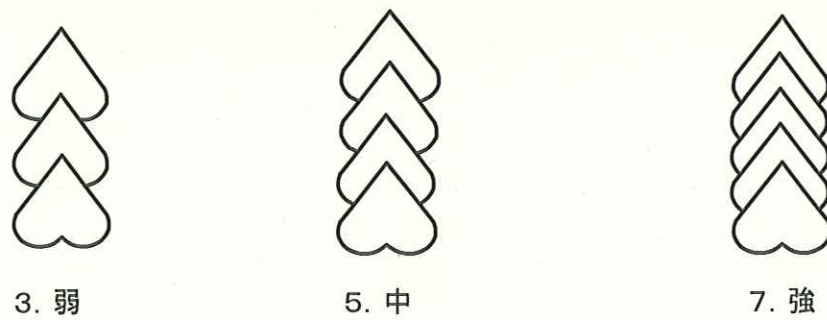


図 7 苞の重なり程度(形質 19)

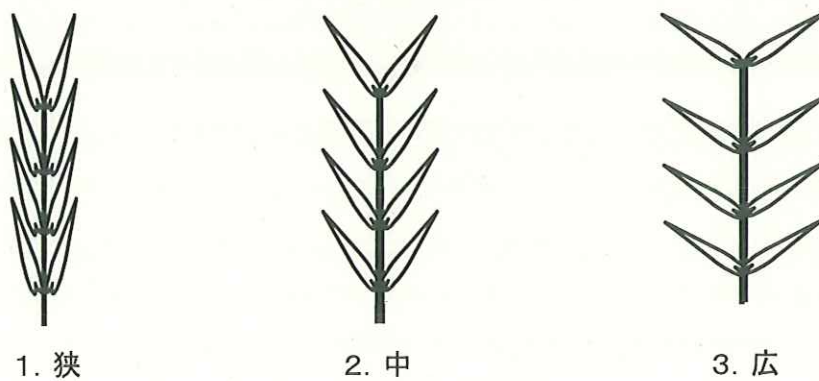


図 8 苞の開きの程度(形質 20)

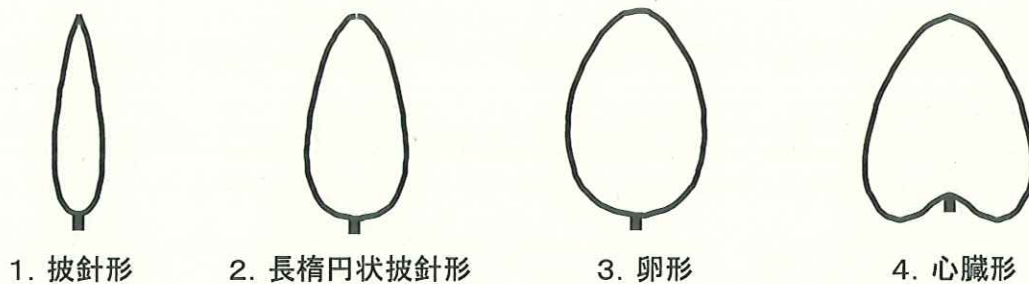


図 9 苞全体の形(形質 21)



図 10 苞の横断面の形(形質 22)

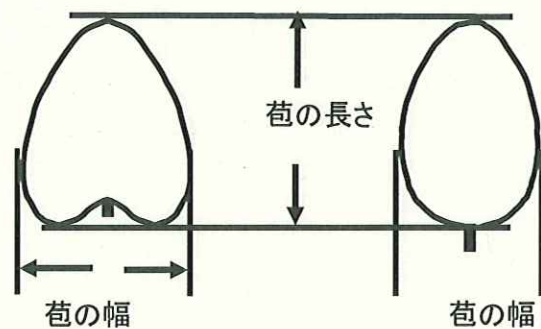


図 11 苞の長さ・幅(形質 23・24)

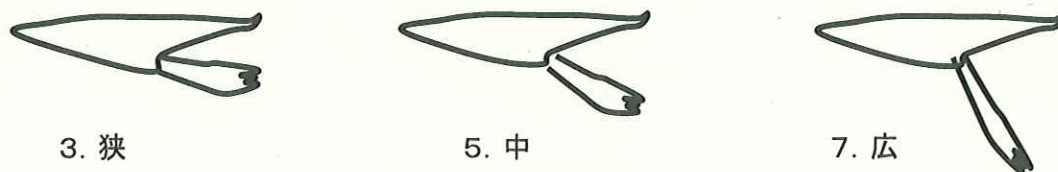


図 12 唇弁の開きの程度(形質 31)

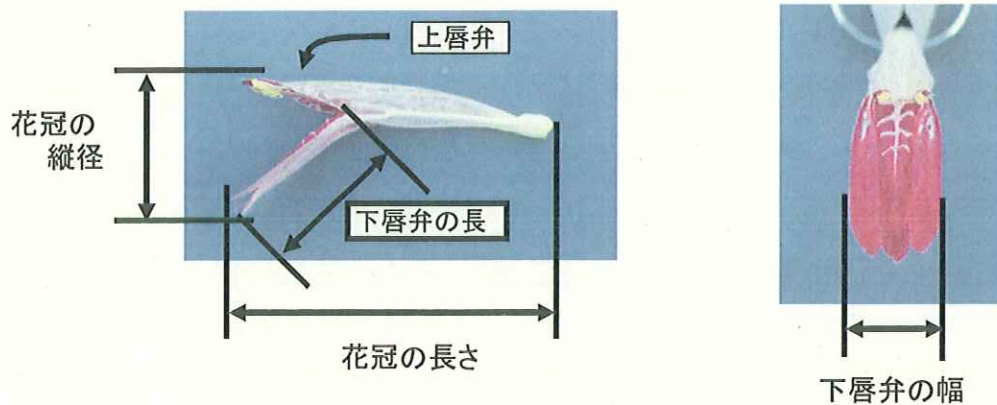


図 13 花冠の縦径・長さ、下唇弁の長さ・幅(形質 32・33・38・39)



1. I 型



2. II 型



3. III 型



4. IV 型

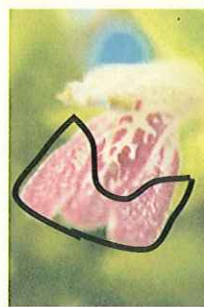
図 14 下唇弁の形(形質 37)



1. I 型



2. II 型



3. III 型



4. IV 型

図 15 下唇弁の複色模様(形質 41)